

委託検査依頼書及び基準書記載方法書

[機-90102A-2]

高圧ガス保安協会

委託検査依頼書及び基準書記載方法書
[機-90102A-2]

1 適用範囲

この方法書は、委託検査マニュアル[機-90102](以下「マニュアル」という。) 4.3 依頼書及び基準書の記載方法に定めるマニュアル様式1「委託検査依頼書」及びマニュアル様式2「基準書」の記載方法について適用する。

2 記載方法及び留意事項

マニュアル様式1「委託検査依頼書」及びマニュアル様式2「基準書」の各項目の記載方法は、それぞれ別表1及び別表2の左欄に掲げる項目に応じ、同表右欄に掲げる記載方法によるものとする。

なお、委託検査依頼書及び基準書をワープロで作成する場合、様式番号及び様式枠外の備考欄の内容を表示する必要はない。

次に掲げる記載例を巻末に示す。なお、各記載例は、記載方法の例を示すものであり、特定の検査に対する検査項目、検査方法及び判定基準の適切性を示すものではない。実際の委託検査の依頼にあたって基準書で提示する検査項目、検査方法及び判定基準は、依頼者が必要に応じて検査結果受入者と調整の上、依頼者が決定するものであり、この点誤解がないように留意すること。

記載例 1-1-1 KHKS 0803(2014)に基づく可とう管(フレキシブルチューブ)の加圧試験の例
(ペロースの強度評価を行う目的で加圧試験のみを実施する場合)

記載例 1-1-2 KHKS 0803(2014)に基づく可とう管(フレキシブルチューブ)の検査の例
(ペロースの強度評価を承認済みの「フレキシブルチューブ加圧試験記録」の確認により代える場合)

記載例 1-1-3 KHKS 0803(2014)に基づく可とう管(フレキシブルチューブ)の検査の例
(ペロースの強度評価のための加圧試験と製品の検査を併せて実施する場合)

記載例 1-2 第二種特定設備の気密試験の例

記載例 2 海外輸出用圧力容器の検査の例

記載例 3 既設の特定設備の部分更新に伴う検査の例

記載例 4-1 鉱山保安法対象機器の検査の例

記載例 4-2 材料の機械的性質の確認試験(高温引張試験)の例

記載例 5 JIS B 8285(2003)に基づく溶接施工方法の確認試験の例

附則 この方法書は、平成 22 年 8 月 1 日から施行する。

附則 この改正は、平成 30 年 4 月 1 日に遡って適用する。

附則 この改正は、令和 3 年 8 月 2 日から施行する。

別表 1

マニュアル様式1「委託検査依頼書」の記載方法

項目	記載方法
[1] 依頼者の名称	依頼者の会社名を記載する。事業所名や工場名がある場合には併記する。
[2] 依頼者の所在地	依頼者の所在地を記載する。
[3] 検査を受ける場所	<p>(1) 設備等の試験、溶接施工方法の確認試験等を実施する場所の会社名(事業所名を含む。)及び住所を記載する。ただし、委託検査を受ける場所が、依頼者の所在地と同じである場合は、会社名(事業所名を含む。)のみの記載とすることができる。</p> <p>(2) 委託検査を受ける場所が、複数ある場合は、全ての場所の会社名及び住所を記載する。</p> <p>(3) 輸入の設備等であって、当該設備の照合確認のみを行う場合は、その確認を行う場所を記載する。</p> <p>(4) 立会検査を伴わず書類検査のみを行う場合は、「—」を記載する。</p>
[4] 検査希望年月日	<p>(1) 依頼日から原則 20 日後以降で依頼者が希望する立会検査の日を記載する。</p> <p>(2) 検査希望日は、1 日に限定せずに期間を記載することが望ましい。</p> <p>(3) 立会検査を伴わず書類検査のみを行う場合は、「—」を記載する。</p> <p>注)立会検査の実施日は、希望する検査日をもとに協会検査員が依頼者と調整して決定する。</p>
[5] 設備等の製造者の名称及び所在地	<p>(1) 設備等の製造者の会社名(事業所名を含む。)及び住所を記載する。</p> <p>(2) 既設設備等の改造、補修等工事に係る委託検査の場合は、当該改造、補修等工事に責任を有する者の会社名(事業所名を含む。)及び住所を記載する。</p> <p>(3) 溶接施工方法の確認試験及び材料の機械的性質の確認試験の場合は、「—」を記載する。</p> <p>(4) (1)~(3)に該当しない場合は、依頼者と協会が協議の上、記載事項を決定する。</p>
[6] 検査の概要	<p>(1) 委託検査の概要を簡潔に記載する。</p> <p>(2) 輸出に伴う委託検査の場合は、輸出先の国名を併記する。</p> <p>(3) 次に掲げる通達に規定するところにより実施する可とう管の検査の場合は、「KHKS 0803(2014)に基づく可とう管の検査」である旨を記載する。</p> <p>① 平成 29 年 7 月 25 日付け 20170718 保局第 1 号「高圧ガス保安法及び関係政省令の運用及び解釈について(内規)」</p> <p>② 平成 30 年 3 月 30 日付け 20180323 保局第 13 号「高圧ガス保安法第 14 条第 1 項及び第 4 項、第 19 条第 1 項及び第 4 項並びに第 24 条の 4 第 1 項に基づく軽微な変更の工事の取扱いについて」</p>

項目	記載方法
<p>[7] 設備等の名称、型式、製造番号等</p>	<p>(1) 対象設備等を特定するための名称、型式、製造番号等を記載する。 (2) 既設の特定設備に関する委託検査の場合は、特定設備の区分、種別、型式及び製造番号を記載する。 (3) 既設の高圧ガス設備に関する委託検査の場合は、高圧ガス設備の機器の種類、品名・型式及び機器番号を記載する。 (4) 溶接施工方法の確認試験の場合は、PQR に表示する任意の番号を記載する。 (5) 材料の機械的性質の確認試験の場合は、次の事項を記載する。 ① 試験を行う材料の規格名称及び材質の記号 ② 試験本数、試験温度等の試験条件 (6) (1)～(5)に該当しない場合は、依頼者と協会が協議の上、記載事項を決定する。</p>
<p>[8] 数量</p>	<p>(1) 委託検査を行う対象設備等の数量を記載する。 (2) 溶接施工方法の確認試験の場合は、実施する確認試験の種類数を記載する。 (3) 材料の機械的性質の確認試験の場合は、材料の種類数を記載する。</p> <p>※ 本欄に記載された数量が、委託検査証明書の発行枚数又は承認する PQR の数に対応する。</p>
<p>[9] 基準書番号</p>	<p>(1) 別表2[1]の基準書番号を記載する。 (2) 溶接施工方法の確認試験の場合、「JIS B 8285」等の適用規格を記載する。</p>
<p>[10] 連絡担当者の所属、氏名及び電話番号</p>	<p>連絡担当者の所属、氏名及び電話番号を記載する。</p>
<p>[11] 備考</p>	<p>(1) 法定検査等(法令、通達等で規定された特定設備検査、高圧ガス設備試験等をいう。)を別に受検した設備等又は申請中の設備等に対する委託検査の場合は、当該検査証明書等の発行番号又は申請書の整理番号を記載する。 (2) 協会刻印を打刻しない場合は、「協会刻印不要」と記載する。 (3) KHKS 0803(2014)に基づく加圧試験を実施する場合であって、KHKS 0803(2014)附属書 A(参考)様式例「フレキシブルチューブ加圧試験記録」の承認を希望するものにあつては、「フレキシブルチューブ加圧試験記録の承認を希望」と記載する。 (4) その他、[1]～[10]に該当しない事項であつて、委託検査に必要な情報又は依頼者が検査結果受入者に示す必要のある情報を記載する。</p>

別表2

マニュアル様式2「基準書」の記載方法

項目	記載方法	
[1] 基準書番号	(1) 基準書を特定するための番号であって、依頼者が任意に付与した番号を記載する。なお、基準書番号は、重複しないように設定すること。 (2) 基準書番号は、委託検査依頼書の「8. 数量」の全数に対してそれぞれ付番する。	
[2] 依頼者の名称	委託検査依頼書に記載した依頼者の名称を記載する。	
設備等の 明細	[3] 検査の概要	委託検査依頼書の「6. 検査の概要」欄と同じ。
	[4] 設備等の名称、型式、製造番号等	委託検査依頼書の「7. 設備等の名称、型式、製造番号等」欄と同じ。
	[5] 取り扱う流体等の種類	原則として次の(1)～(5)によるものとする。ただし、高圧ガス保安法が適用されない設備等の委託検査の場合はこの限りでない。 (1) 特定設備に関する委託検査の場合は、次のいずれかを記載する。ただし、アンモニア等であって毒性ガス及び可燃性ガスの2種類のガスの種類に該当する場合は、2種類を併記する。 ① 毒性ガス ② 可燃性ガス ③ 毒性ガス又は可燃性ガス以外のガス (2) ガス設備(特定設備を除く。)に関する委託検査の場合は、次のいずれかを記載する。ただし、アンモニア等であって毒性ガス及び可燃性ガスの2種類のガスの種類に該当する場合は、2種類を併記する。 ① 特殊高圧ガス ② 毒性ガス ③ 可燃性ガス ④ 毒性ガス・可燃性ガス又は特殊高圧ガス以外のガス(「毒・燃・特殊以外のガス」としてもよい。) (3) 室が2室以上ある圧力容器であって、ガスに該当しない流体を取り扱う室がある場合は、「水」、「ブライン」等の流体名を記載する。 (4) 容器及び附属品に該当する場合は、容器に充てんするガスの種類を記載する。 (5) 材料の機械的性質の確認試験等、本項が該当しない場合は、「—」を記載する。
	[6] 設備等の内容積、能力、処理容積等	(1) 特定設備に関する委託検査の場合は、特定設備の「内容積(単位:m ³)」を記載する。なお、既設設備の部分更新等の場合、必要に応じて更新部分の内容積を併記してもよい。

	項目	記載方法
設備等の 明細 つづ ぎ		<p>(2) 高圧ガス設備に関する委託検査の場合は、高圧ガス設備の「機器の処理容積等」を記載する。既設設備等の部分更新等の場合、必要に応じて更新部分の処理容積等を併記してもよい。</p> <p>(3) (1)及び(2)以外の場合は、設備等の種類に応じて、内容積、吐出量、口径等を記載する。</p> <p>(4) 材料の機械的性質の確認試験等、本項が該当しない場合は、「—」を記載する。</p>
	[7] 設計圧力・ 設計温度	<p>(1) 設備の設計圧力及び設計温度を記載する。</p> <p>(2) 容器及び附属品の最高充てん圧力[単位 MPa]を記載する。</p> <p>(3) 圧力の単位は、MPaとする。ただし、輸出用の場合は、MPaの値と希望する単位の値を併記してもよい。</p> <p>(4) 温度の単位は、℃とする。ただし、輸出用の場合は、℃の値と希望する単位の値を併記してもよい。</p> <p>(5) 材料の機械的性質の確認試験等、本項が該当しない場合は、「—」を記載する。</p>
	[8] 常用の圧 力・常用の 温度	<p>(1) 設備等の常用圧力及び常用温度を記載する。ただし、記載する必要のない場合は、「—」とする。</p> <p>(2) 圧力及び温度の単位は、[7]による。</p> <p>(3) 材料の機械的性質の確認試験等、本項が該当しない場合は、「—」を記載する。</p>
	[9] 備考	委託検査依頼書の「11. 備考」欄と同じ。
検査項目、 検査方法 及び 判定基準	[10] 検査項目	<p>(1) 各検査項目に対する表題を記載する。</p> <p>(2) 検査項目に耐圧試験、気密試験等圧力を加える試験を含む場合、当該設備の強度確認のため、検査項目に設計検査を含めることが望ましい。</p>
	[11] 検査方法	<p>(1) 次のいずれかにより、検査の方法を記載する。</p> <p>① 規格等の条項を引用する。</p> <p>② 具体的に内容を記載する。</p> <p>③ ①及び②を併記する。</p> <p>(2) 書類検査、立会検査、記録確認等の検査方法を記載する。</p>
	[12] 判定基準	<p>次のいずれかにより、判定基準を記載する。ただし、材料の機械的性質の確認試験等の判定基準を伴わない場合は、「—」とする。</p> <p>① 規格等の条項を引用する。</p> <p>② 具体的に内容を記載する。</p> <p>③ ①及び②を併記する。</p>

記載例1-1-1 KHKS 0803(2014)に基づく可とう管(フレキシブルチューブ)の加圧試験の例
(ヘローズの強度評価を行う目的で加圧試験のみを実施する場合)

委託検査依頼書

	※整理番号
	※受付年月日
1. 依頼者の名称	株式会社加東管工業 加西工場
2. 依頼者の所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
3. 検査を受ける場所	株式会社加東管工業 加西工場
4. 検査希望年月日	平成〇〇年6月8~12日のうちの1日
5. 設備等の製造者の名称及び所在地	株式会社加東管工業 加西工場 〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
6. 検査の概要	KHKS 0803(2014)に基づく可とう管(フレキシブルチューブ)の加圧試験
7. 設備等の名称、型式、製造番号等	フレキシブルチューブ 型式:FLX-1-1-1 製造番号:111-1
8. 数量	1基
9. 基準書番号	KHKS0803-PRFTST-1
10. 連絡担当者の所属、氏名及び電話番号	□□部 □□△課 □□ □□ Tel: 000-000-0000
11. 備考	フレキシブルチューブ加圧試験記録の承認を希望

平成〇年〇月〇日

名 称 株式会社加東管工業
代表者氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

高圧ガス保安協会 殿

記載例1-1-1 (つづき)

基準書

1. 基準書番号	KHKS0803-PRFTST-1
2. 依頼者の名称	株式会社加東管工業 加西工場

設備等の明細

3. 検査の概要	KHKS 0803(2014)に基づく可とう管(フレキシブルチューブ)の加圧試験	
4. 設備等の名称、型式、製造番号等	フレキシブルチューブ 型式:FLX-1-1-1 製造番号:111-1	
5. 取り扱う流体等の種類	毒性ガス又は可燃性ガス以外のガス	
6. 設備等の内容積、能力、処理容積等	呼び径 25A	
7. 設計圧力・設計温度	3.0 MPa	200℃
8. 常用の圧力・常用の温度	—	—
9. 備考	フレキシブルチューブ加圧試験記録の承認を希望	

検査項目、検査方法及び判定基準

10. 検査項目	11. 検査方法	12.判定基準
設計の検査	(書類検査) KHKS 0803(2014) 7.1 による。ただし、ベローズの強度評価を除く。	
材料の検査	(記録確認) KHKS 0803(2014) 7.2 による。	
外観検査	(立会検査) KHKS 0803(2014) 7.3 による。	
寸法検査	(記録確認) KHKS 0803(2014) 7.4.2 による。	
溶接部の検査	(立会検査) KHKS 0803(2014) 7.5.1 による。	
加圧試験	(立会検査) KHKS 0803(2014) 7.6 による。 加圧試験圧力 : $P_{4t} = 4P(\alpha_0/\alpha_s)$ $= 4 \times 3.0 \times (129/112) = 13.9 \text{ MPa}$ 使用流体 : 水 (注1)	KHKS 0803(2014) 7.6 による。 加圧試験圧力まで昇圧して 圧力保持した後、破壊を生じ ない場合、これを合格とする。 (注1)

注1: 本記載例では、検査方法及び判定基準欄に、規格等の条項を引用し、且つ具体的内容を併記した例を示した。

備考: 本記載例は、記載方法の例を示すものであり、特定の検査に対する検査項目、検査方法及び判定基準の適切性を示すものではない。

実際の委託検査依頼にあたって基準書で提示する検査項目、検査方法及び判定基準は、依頼者が必要に応じて検査結果受入者と調整の上、依頼者が決定するものであり、この点誤解がないように留意すること。

記載例1-1-2 KHKS 0803(2014)に基づく可とう管(フレキシブルチューブ)の検査の例
 (ヘローズの強度評価を承認済みの「フレキシブルチューブ加圧試験記録」の
 確認により代える場合)

委託検査依頼書

	※整理番号	
	※受付年月日	
1. 依頼者の名称	株式会社加東管工業 加西工場	
2. 依頼者の所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3	
3. 検査を受ける場所	株式会社加東管工業 加西工場	
4. 検査希望年月日	平成〇〇年6月8~12日のうちの1日	
5. 設備等の製造者の名称及び所在地	株式会社加東管工業 加西工場 〇〇県〇〇市〇〇1-2-3	
6. 検査の概要	KHKS 0803(2014)に基づく可とう管(フレキシブルチューブ)の検査	
7. 設備等の名称、型式、製造番号等	フレキシブルチューブ 型式:FLX-1-1-2 製造番号:112-1~10	
8. 数量	10基	
9. 基準書番号	KHKS0803-INSP-RVW-1~10	
10. 連絡担当者の所属、氏名及び電話番号	□□部 □□△課 □□ □□ Tel: 000-000-0000	
11. 備考		

平成〇年〇月〇日

名 称 株式会社加東管工業
 代表者氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

高圧ガス保安協会 殿

記載例1-1-2（つづき）

基準書

1. 基準書番号	KHKS0803-INSP-RVW-1 ^(注1)
2. 依頼者の名称	株式会社加東管工業 加西工場

設備等の明細

3. 検査の概要	KHKS 0803(2014)に基づく可とう管(フレキシブルチューブ)の検査	
4. 設備等の名称、型式、製造番号等	フレキシブルチューブ 型式:FLX-1-1-2 製造番号:112-1	
5. 取り扱う流体等の種類	毒性ガス又は可燃性ガス以外のガス	
6. 設備等の内容積、能力、処理容積等	呼び径 25A	
7. 設計圧力・設計温度	1.1 MPa	40℃
8. 常用の圧力・常用の温度	1.0 MPa	20℃
9. 備考		

検査項目、検査方法及び判定基準

10. 検査項目	11. 検査方法	12.判定基準
設計の検査	(書類検査) KHKS 0803(2014) 7.1 による。 なお、ペローズの強度評価は、承認済みのフレキシブルチューブ加圧試験記録(番号 010 東 9999)の確認により代えるものとする。	
材料の検査	(記録確認) KHKS 0803(2014) 7.2 による。	
外観検査	(立会検査) KHKS 0803(2014) 7.3 による。	
寸法検査	(記録確認) KHKS 0803(2014) 7.4.2 による。	
溶接部の検査	(立会検査) KHKS 0803(2014) 7.5.1 による。	
耐圧試験	(立会検査) KHKS 0803(2014) 7.7 による。 耐圧試験圧力 : $P_t = 1.5P(\alpha/\alpha_0) = 1.5 \times 1.1 \times (129/129) = 1.65 \text{ MPa}$ 使用流体 : 水	
気密試験	(立会検査) KHKS 0803(2014) 7.8 による。 気密試験圧力 : 1.1 MPa 使用流体 : 窒素	

注1: 本記載例では、検査数量 10 基のうちの 1 基に対する基準書の例を示した。実際の依頼にあたっては全数分それぞれに対する基準書を準備する必要があるため念のため。

備考: 本記載例は、記載方法の例を示すものであり、特定の検査に対する検査項目、検査方法及び判定基準の適切性を示すものではない。

実際の委託検査依頼にあたって基準書で提示する検査項目、検査方法及び判定基準は、依頼者が必要に応じて検査結果受入者と調整の上、依頼者が決定するものであり、この点誤解がないように留意すること。

記載例1-1-3 KHKS 0803(2014)に基づく可とう管(フレキシブルチューブ)の検査の例
(ヘローズの強度評価のための加圧試験と製品の検査を併せて実施する場合)

委託検査依頼書

	※整理番号	
	※受付年月日	
1. 依頼者の名称	株式会社加東管工業 加西工場	
2. 依頼者の所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3	
3. 検査を受ける場所	株式会社加東管工業 加西工場	
4. 検査希望年月日	平成〇〇年6月8~12日のうちの1日	
5. 設備等の製造者の名称及び所在地	株式会社加東管工業 加西工場 〇〇県〇〇市〇〇1-2-3	
6. 検査の概要	KHKS 0803(2014)に基づく可とう管(フレキシブルチューブ)の検査	
7. 設備等の名称、型式、製造番号等	フレキシブルチューブ 型式:FLX-1-1-3 製造番号:113-1~11	
8. 数量	11基(加圧試験に使用するもの1基を含む)	
9. 基準書番号	KHKS0803-INSP-FL-1~11	
10. 連絡担当者の所属、氏名及び電話番号	□□部 □□△課 □□ □□ Tel: 000-000-0000	
11. 備考	フレキシブルチューブ加圧試験記録の承認を希望	

平成〇年〇月〇日

名 称 株式会社加東管工業
代表者氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

高圧ガス保安協会 殿

記載例1-1-3 (つづき)

基準書

1. 基準書番号	KHKS0803-INSP-FL-1 ^(注1)
2. 依頼者の名称	株式会社加東管工業 加西工場

設備等の明細

3. 検査の概要	KHKS 0803(2014)に基づく可とう管(フレキシブルチューブ)の検査	
4. 設備等の名称、型式、製造番号等	フレキシブルチューブ 型式:FLX-1-1-3 製造番号:113-1	
5. 取り扱う流体等の種類	毒性ガス又は可燃性ガス以外のガス	
6. 設備等の内容積、能力、処理容積等	呼び径 25A	
7. 設計圧力・設計温度	製品 : 1.1 MPa 加圧試験用 : 3.0 MPa ^(注2)	製品 : 40°C 加圧試験用 : 200°C ^(注2)
8. 常用の圧力・常用の温度	製品 : 1.0 MPa	製品 : 20°C
9. 備考	フレキシブルチューブ加圧試験記録の承認を希望	

検査項目、検査方法及び判定基準

10. 検査項目	11. 検査方法	12. 判定基準
設計の検査	(書類検査) KHKS 0803(2014) 7.1 による。なお、ベローズの強度評価は、加圧試験により強度を確認するものとする。	
加圧試験	(立会検査) KHKS 0803(2014) 7.6 による。 加圧試験圧力 : $P_{4t} = 4P(\alpha_f/\alpha_a) = 4 \times 3.0 \times (129/112) = 13.9\text{MPa}$ 使用流体 : 水	
材料の検査	(記録確認) KHKS 0803(2014) 7.2 による。	
外観検査	(立会検査) KHKS 0803(2014) 7.3 による。	
寸法検査	(記録確認) KHKS 0803(2014) 7.4.2 による。	
溶接部の検査	(立会検査) KHKS 0803(2014) 7.5.1 による。	
耐圧試験	(立会検査) KHKS 0803(2014) 7.7 による。 耐圧試験圧力 : $P_t = 1.5P(\alpha_f/\alpha_a) = 1.5 \times 1.1 \times (129/129) = 1.65\text{MPa}$ 使用流体 : 水	
気密試験	(立会検査) KHKS 0803(2014) 7.8 による。 気密試験圧力 : 1.1 MPa 使用流体 : 窒素	

注1: 本記載例では、検査数量 11 基(加圧試験に使用するもの 1 基を含む)のうちの 1 基に対する基

準書の例を示した。実際の依頼にあたっては全数分それぞれに対する基準書を準備する必要があるため。

注 2: 本記載例では、製品の設計圧力・設計温度と加圧試験用の設計圧力・設計温度が異なる例を示した。

備考: 本記載例は、記載方法の例を示すものであり、特定の検査に対する検査項目、検査方法及び判定基準の適切性を示すものではない。

実際の委託検査依頼にあたって基準書で提示する検査項目、検査方法及び判定基準は、依頼者が必要に応じて検査結果受入者と調整の上、依頼者が決定するものであり、この点誤解がないように留意すること。

記載例1-2 第二種特定設備の気密試験の例

委託検査依頼書

	※整理番号	
	※受付年月日	
1. 依頼者の名称	株式会社第二鐵工所 君津工場	
2. 依頼者の所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3	
3. 検査を受ける場所	株式会社第二鐵工所 君津工場	
4. 検査希望年月日	平成〇〇年6月8~12日のうちの1日	
5. 設備等の製造者の名称及び所在地	株式会社第二鐵工所 君津工場 〇〇県〇〇市〇〇1-2-3	
6. 検査の概要	第二種特定設備に係る気密試験	
7. 設備等の名称、型式、製造番号等	熱交換器 第二種特定設備 型式:HUX01 製造番号:AAA-1	
8. 数量	1基	
9. 基準書番号	DEIR2LT-AAA	
10. 連絡担当者の所属、氏名及び電話番号	□□部 □□△課 □□ □□ Tel: 000-000-0000	
11. 備考	特定設備検査申請書 整理番号:22 大 9999	

平成〇年〇月〇日

名 称 株式会社第二鐵工所
代表者氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

高圧ガス保安協会 殿

記載例1-2（つづき）

基準書

1. 基準書番号	DEIR2LT-AAA
2. 依頼者の名称	株式会社第二鐵工所 君津工場

設備等の明細

3. 検査の概要	第二種特定設備に係る気密試験			
4. 設備等の名称、型式、製造番号等	熱交換器 第二種特定設備 型式:HUX01 製造番号:AAA-1			
5. 取り扱う流体等の種類	胴側		管側	
	ブライン		毒性ガス・可燃性ガス	
6. 設備等の内容積、能力、処理容積等	内容積 4.00 m ³		内容積 2.33 m ³	
7. 設計圧力・設計温度	0.2 MPa	40°C	1.1 MPa	40°C
8. 常用の圧力・常用の温度	0.1 MPa	20°C	1.0 MPa	20°C
9. 備考	特定設備検査申請書 整理番号:22 大 9999			

検査項目、検査方法及び判定基準

10. 検査項目	11. 検査方法	12.判定基準
(注1) 気密試験 (管側)	(立会検査) 設計圧力の1.1倍の圧力で窒素を使用して行う。 気密試験圧力 : 1.1 MPa × 1.1 = 1.21 MPa 保持時間 10 分以上とする。(注2)	試験圧力において漏れ等の異状の生じない場合、合格とする。(注2)

注 1: 別表 2[10]により、検査項目に気密試験を含む場合は、検査項目に設計検査を含めることが望ましいが、本記載例では、特定設備検査の申請を同時進行で行っている場合を想定し、特定設備検査において設計検査が行われているという前提のもと、検査項目に設計検査を含めない例を示した。

注 2: 本記載例では、検査方法及び判定基準欄に、規格等の条項等を引用せず、具体的内容を記載した例を示した。

備考: 本記載例は、記載方法の例を示すものであり、特定の検査に対する検査項目、検査方法及び判定基準の適切性を示すものではない。

実際の委託検査依頼にあたって基準書で提示する検査項目、検査方法及び判定基準は、依頼者が必要に応じて検査結果受入者と調整の上、依頼者が決定するものであり、この点誤解がないように留意すること。

記載例 2 海外輸出用圧力容器の検査の例

委託検査依頼書

	※整理番号
	※受付年月日
1. 依頼者の名称	株式会社反応工業 エキスポ工場
2. 依頼者の所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
3. 検査を受ける場所	株式会社反応工業 エキスポ工場
4. 検査希望年月日	平成〇〇年6月8~10日のうちの1日、6月15日~18日のうちの1日及び6月28日~30日のうちの1日
5. 設備等の製造者の名称及び所在地	株式会社反応工業 エキスポ工場 〇〇県〇〇市〇〇1-2-3
6. 検査の概要	海外輸出用圧力容器の検査 (輸出先:マレーシア)
7. 設備等の名称、型式、製造番号等	反応器 型式:RCTR-001 製造番号:R001-001
8. 数量	1基
9. 基準書番号	EXP-RCTR-001
10. 連絡担当者の所属、氏名及び電話番号	□□部 □□△課 □□ □□ Tel: 000-000-0000
11. 備考	

平成〇年〇月〇日

名 称 株式会社反応工業
代表者氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

高圧ガス保安協会 殿

注1: マニュアル様式 6-2 による英文の証明書の発行を希望する場合、依頼書に英文による記載内容を併記すること。

記載例 2 (つづき)

基準書

1. 基準書番号	EXP-RCTR-001
2. 依頼者の名称	株式会社反応工業 エキスポ工場

設備等の明細

3. 検査の概要	海外輸出用圧力容器の検査(輸出先:マレーシア)	
4. 設備等の名称、型式、製造番号等	反応器 型式:RCTR-001 製造番号:R001-001	
5. 取り扱う流体等の種類	可燃性ガス	
6. 設備等の内容積、能力、処理容積等	内容積 5.0 m ³	
7. 設計圧力・設計温度	1.1 MPa	200°C
8. 常用の圧力・常用の温度	1.0 MPa	100°C
9. 備考		

検査項目、検査方法及び判定基準

10. 検査項目	11. 検査方法	12.判定基準
設計検査	(書類検査) 別添1 特定設備の技術基準の解釈 第4条～第48条に適合すること。	
耐圧試験	(立会検査) 別添1 特定設備の技術基準の解釈 第46条第1項及び第74条(2)による。 耐圧試験圧力 : 1.1 MPa × 1.5 = 1.65 MPa 使用流体 : 水	別添1 特定設備の技術基準の解釈 第72条に適合すること。
気密試験	(立会検査) 別添1 特定設備の技術基準の解釈 第47条及び第74条(4)による。 気密試験圧力 : 1.1 MPa 使用流体 : 窒素	別添1 特定設備の技術基準の解釈 第73条に適合すること。

注 1: 基準書を英文で作成してもよい。

備考: 本記載例は、記載方法の例を示すものであり、特定の検査に対する検査項目、検査方法及び判定基準の適切性を示すものではない。

実際の委託検査依頼にあたって基準書で提示する検査項目、検査方法及び判定基準は、依頼者が必要に応じて検査結果受入者と調整の上、依頼者が決定するものであり、この点誤解がないように留意すること。

記載例 3 既設の特定設備の部分更新に伴う検査の例

委託検査依頼書

	※整理番号	
	※受付年月日	
1. 依頼者の名称	株式会社季節工事 甲信事業所	
2. 依頼者の所在地	△△県△△市△△5-6-7	
3. 検査を受ける場所 ^(注1)	株式会社季節工事 甲信事業所 △△県△△市△△5-6-7 ヤマト石油株式会社 大和製油所 □□県□□市□□8-9	
4. 検査希望年月日	平成〇〇年6月8~20日のうちの2日間	
5. 設備等の製造者の名称及び所在地	株式会社季節工事 甲信事業所 △△県△△市△△5-6-7	
6. 検査の概要	既設の塔上部更新に伴う検査	
7. 設備等の名称、型式、製造番号等	塔 第一種特定設備 (TW-001 〇〇〇 精留塔) ^(注2) 型式:FRCTNTR-01 製造番号:TW-001	
8. 数量	1 基	
9. 基準書番号	RPR-TW-001	
10. 連絡担当者の所属、氏名及び電話番号	□□部 □□△課 □□ □□ Tel: 000-000-0000	
11. 備考	更新部分の材料を SUS304 から SUS347 に変更する。 特定設備検査合格証番号:55 広 9999	

平成〇年〇月〇日

名 称 株式会社季節工事
代表者氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

高圧ガス保安協会 殿

注 1: 本記載例では、株式会社季節工事甲信事業所が依頼者となり、次により工事及び工事に伴う委託検査を受検する場合を想定した例を示した。

(1) 株式会社季節工事甲信事業所で更新部分の製造を行い、当該更新部分に係る検査を同事業所で受検する。

(2) ヤマト石油株式会社大和製油所において、株式会社季節工事甲信事業所が既設の塔上部の更新工事を行い、当該部分に係る検査を受検する。

注 2: 検査結果受入者に対して説明が行い易いように、設備の具体的名称を追記してもよい。

記載例 3 (つづき)

基準書

1. 基準書番号	RPR-TW-001
2. 依頼者の名称	株式会社季節工事 甲信事業所

設備等の明細

3. 検査の概要	既設の塔上部更新に伴う検査	
4. 設備等の名称、型式、製造番号等	塔 第一種特定設備 (TW-001 ○○○ 精留塔) 型式:FRCTNTR-01 製造番号:TW-001	
5. 取り扱う流体等の種類	可燃性ガス	
6. 設備等の内容積、能力、処理容積等	内容積 15.7 m ³ (更新部分内容積 3.2 m ³) ^(注1)	
7. 設計圧力・設計温度	7.0 MPa	350 °C
8. 常用の圧力・常用の温度	4.5 MPa	250 °C
9. 備考	更新部分の材料を SUS304 から SUS347 に変更する。 特定設備検査合格証番号:55 広 9999	

検査項目、検査方法及び判定基準

10. 検査項目	11. 検査方法	12.判定基準
設計検査	(書類検査) 別添1 特定設備の技術基準の解釈 第4条～第48条に適合すること。	
気密試験	(立会検査) 別添1 特定設備の技術基準の解釈 第47条及び第74条(4)による。 気密試験圧力 : 7.0 MPa 使用流体 : 窒素	別添1 特定設備の技術基準の解釈 第73条に適合すること。

注1: 必要に応じて、更新部分の内容積を記載してもよい。

備考: 本記載例は、記載方法の例を示すものであり、特定の検査に対する検査項目、検査方法及び判定基準の適切性を示すものではない。

実際の委託検査依頼にあたって基準書で提示する検査項目、検査方法及び判定基準は、依頼者が必要に応じて検査結果受入者と調整の上、依頼者が決定するものであり、この点誤解がないように留意すること。

記載例 4-1 鉱山保安法対象機器の検査の例

委託検査依頼書

	※整理番号	
	※受付年月日	
1. 依頼者の氏名又は名称	株式会社白樺工業 春暁工場	
2. 依頼者の所在地	〇〇県〇〇市〇〇 1-2-3	
3. 検査を受ける場所	株式会社白樺工業 春暁工場	
4. 検査希望年月日	平成〇〇年6月8~10日のうちの1日、6月15日~18日のうちの1日及び6月28日~30日のうちの1日	
5. 設備等の製造者の名称及び所在地	株式会社白樺工業 春暁工場 〇〇県〇〇市〇〇 1-2-3	
6. 検査の概要	鉱山保安法対象機器の検査	
7. 設備等の名称、型式、製造番号等	〇〇回収ドラム 型式: DRM-A 製造番号: D-001	
8. 数量	1基	
9. 基準書番号	MSL-D-001	
10. 連絡担当者の所属、氏名及び電話番号	□□部 □□△課 □□ □□ Tel: 000-000-0000	
11. 備考		

平成〇年〇月〇日

名 称 株式会社白樺工業
代表者氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

高圧ガス保安協会 殿

記載例 4-1 (つづき)

基準書

1. 基準書番号	MSL-D-001
2. 依頼者の名称	株式会社白樺工業 春暁工場

設備等の明細

3. 検査の概要	鉱山保安法対象機器の検査	
4. 設備等の名称、型式、製造番号等	〇〇回収ドラム 型式: DRM-A 製造番号: D-001	
5. 取り扱う流体等の種類	可燃性ガス	
6. 設備等の内容積、能力、処理容積等	内容積 5.0 m ³	
7. 設計圧力・設計温度	2.0 MPa	200℃
8. 常用の圧力・常用の温度	1.2 MPa	100℃
9. 備考		

検査項目、検査方法及び判定基準

10. 検査項目	11. 検査方法	12. 判定基準
設計検査	(書類検査) 別添1 特定設備の技術基準の解釈 第4条～第48条に適合すること。	
材料検査	(立会検査) 別添1 特定設備の技術基準の解釈 第52条に適合すること。	
外観検査	(立会検査) 目視検査による。	加工後の材料の表面に使用上有害な傷、打こん、腐食等の欠陥がないこと。

備考: 本記載例は、記載方法の例を示すものであり、特定の検査に対する検査項目、検査方法及び判定基準の適切性を示すものではない。

実際の委託検査依頼にあたって基準書で提示する検査項目、検査方法及び判定基準は、依頼者が必要に応じて検査結果受入者と調整の上、依頼者が決定するものであり、この点誤解がないように留意すること。

記載例 4-2 材料の機械的性質の確認試験(高温引張試験)の例

委託検査依頼書

	※整理番号	
	※受付年月日	
1. 依頼者の名称	厚恩工業株式会社	
2. 依頼者の所在地	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3	
3. 検査を受ける場所	引っ張り製鐵株式会社 喜界島試験所 △△△県△△市△△9-9-9	
4. 検査希望年月日	平成〇〇年6月8~12日のうちの1日	
5. 設備等の製造者の名称及び所在地	—	
6. 検査の概要	JIS G 4303 SUS303 の高温引張試験	
7. 設備等の名称、型式、製造番号等	試験を行う材料 : JIS G 4303 SUS303 試験温度 : 300℃及び500℃ 試験片本数 : 試験温度毎に各〇本	
8. 数量	1種類	
9. 基準書番号	HTTT-303	
10. 連絡担当者の所属、氏名及び電話番号	□□部 □□△課 □□ □□ Tel: 000-000-0000	
11. 備考	協会刻印不要	

平成〇年〇月〇日

名 称 厚恩工業株式会社
代表者氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

高圧ガス保安協会 殿

記載例 4-2 (つづき)

基準書

1. 基準書番号	HTTT-303
2. 依頼者の名称	厚恩工業株式会社

設備等の明細

3. 検査の概要	JIS G 4303 SUS303 の高温引張試験
4. 設備等の名称、型式、製造番号等	試験を行う材料 : JIS G 4303 SUS303 試験温度 : 300℃及び 500℃ 試験片本数 : 試験温度毎に各〇本
5. 取り扱う流体等の種類	—
6. 設備等の内容積、能力、処理容積等	—
7. 設計圧力・設計温度	—
8. 常用の圧力・常用の温度	—
9. 備考	協会刻印不要

検査項目、検査方法及び判定基準

10. 検査項目	11. 検査方法	12. 判定基準
材料確認	(書類検査) 試験を行う材料を材料証明書により確認する。また、材料証明書の内容が当該規格を満足していることを確認する。	
機械試験	(立会検査) JIS G 0567 に準じ、以下の温度において引張試験を実施し、引張強さ及び 0.2%耐力を測定する。 試験を行う材料 : JIS G 4303 SUS303 試験温度 : 300℃及び 500℃ 試験片本数 : 試験温度毎に各〇本	—

備考： 本記載例は、記載方法の例を示すものであり、特定の検査に対する検査項目、検査方法及び判定基準の適切性を示すものではない。

実際の委託検査依頼にあたって基準書で提示する検査項目、検査方法及び判定基準は、依頼者が必要に応じて検査結果受入者と調整の上、依頼者が決定するものであり、この点誤解がないように留意すること。

記載例 5 JIS B 8285 (2003)に基づく溶接施工方法の確認試験の例

委託検査依頼書

	※整理番号	
	※受付年月日	
1. 依頼者の名称	株式会社世耕工業 賀来忍工場	
2. 依頼者の所在地	〇〇県〇〇市〇〇 1-2-3	
3. 検査を受ける場所	株式会社世耕工業 賀来忍工場	
4. 検査希望年月日	平成〇〇年 6月 8~10日のうちの1日、6月 15日~18日のうちの1日及び6月 28日~30日のうちの1日	
5. 設備等の製造者の名称及び所在地	—	
6. 検査の概要	溶接施工方法の確認試験	
7. 設備等の名称、型式、製造番号等	溶接施工方法番号 : PQR-001, PQR-002	
8. 数量	2種類	
9. 基準書番号	適用規格 : JIS B8285(2003)	
10. 連絡担当者の所属、氏名及び電話番号	□□部 □□△課 □□ □□ Tel: 000-000-0000	
11. 備考		

平成〇年〇月〇日

名 称 株式会社世耕工業
代表者氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

高圧ガス保安協会 殿